

商 工 費

商工費の支出済額は、840,469,474円で、対前年度比180,596,638円、27.37パーセントの増で、歳出総額に対する構成比は1.83パーセントです。

7 款 1 項 2 目 商工振興費

商工業振興事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 215 ページ

予算現額	22,081,000 円	決算額	21,803,554 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	国庫支出金	
不 用 額	277,446 円		特定 財源	県 支 出 金 6,316 円
前 年 度 比 較	決算額		21,860,543 円	地 方 債
	増減額	△56,989 円	そ の 他	
	増減率	△0.26%	一 般 財 源	21,797,238 円

<目的>

商工業の活性化と持続的な発展を目的に、関係団体を支援するとともに、各種施策を実施します。

<内容>

地域経済の発展と地域全般の福祉の増進を目的に設立されている商工会議所と地域の商店街が実施する事業について補助するとともに、店舗等のリフォーム費用の一部を補助することにより、商工業の振興を図ります。

<実績・成果等>

1 狭山商工会議所に対する助成

中小企業者の体質強化を図る商工業振興施策を総合的に推進するため、狭山商工会議所に対し、13,200,000円の補助金を交付しました。これにより集団指導・個別指導・巡回指導・窓口相談・金融あっせん等の経営指導を促進するとともに、一般事業として商業・工業部会等8部会と青年部・女性会の活動を支援しました。

2 商工祭

商工業の理解と振興を図るために実施している商工祭を、狭山市駅西口市民広場周辺を会場に開催しました。

来場者数 約10,000人

出 店 者 42 (商業者32、工業者2、その他8)

3 店舗・住宅リフォーム者への補助

市内施工業者を利用し店舗・住宅のリフォームを行った者に対して、(店舗上限300,000円・住宅上限100,000円)を補助しました。

利用件数 91 件 補助金額 5,768,000 円

7 款 1 項 2 目 商工振興費

プレミアム付商品券事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 215 ページ

予算現額	234,945,000 円	決算額	130,169,610 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	国庫支出金	130,148,300 円
不 用 額	104,775,390 円		県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額		地 方 債	
	増減額		130,169,610 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源	21,310 円

<目的>

消費税、地方消費税の 10 パーセントへの引上げが、低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起、下支えすることを目的として実施します。

<内容>

対象者は、1 人につき最大 25,000 円分(5,000 円×5 セット)の商品券を 20,000 円で購入することができます。登録店舗にて使用することができます。

<実績・成果等>

対象者数

令和元年度住民税非課税者 23,700 人

平成 28 年 4 月 2 日から令和元年 9 月 30 日までの間に生まれた子 (3,300 人) が属する世帯の世帯主

商品券購入引換券申請者数及び交付者数

引換券申請者数 9,956 人 (住民税非課税者)

引換券交付者数 9,510 人 (住民税非課税者)

3,300 人 (子の数)

商品券概要

1 セット 5,000 円分(額面 500 円券 10 枚綴) の商品券を、4,000 円で販売。1 セットごとに 5 回まで分割して購入することも可能。プレミアム率は 25 パーセント

販売実績 49,290 セット

販売金額 197,160,000 円 (49,290 セット×4,000 円)

発行総額 246,450,000 円 (49,290 セット×5,000 円)

登録店舗数 413 店舗

7款 1項 2目 商工振興費

企業立地促進事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 217 ページ

予算現額	31,841,000 円		決算額	26,226,072 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	5,614,928 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	47,162,158 円		地 方 債	
	増減額	△20,936,086 円		そ の 他	
	増減率	△44.39%	一 般 財 源	26,226,072 円	

<目的>

企業立地を促進し、産業の振興及び雇用の拡大を図り、地域経済の発展と市民生活の向上に寄与します。

<内容>

市内への立地を希望する企業に対して、立地に関する手続きの支援や既存企業が抱える課題に関する相談・支援を行います。また、企業立地奨励金等交付要綱に基づき、市内立地した事業所に対する奨励金交付を通して、企業の新規立地や既存施設の拡張を支援します。

<実績・成果等>

区 分	件 数	金 額
企 業 立 地 奨 励 金	9 件	22,207,500 円
そ の 他 の 助 成 金	雇 用 促 進 助 成 金	1 人 200,000
	正 規 従 業 員 雇 用 促 進 助 成 金	1 人 300,000
	障 害 者 雇 用 促 進 助 成 金	0 人 0
	女 性 雇 用 促 進 助 成 金	0 人 0
	社 会 進 出 応 援 助 成 金	0 人 0
	環 境 保 全 施 設 設 置 助 成 金	1 件 3,000,000
	水 道 利 用 加 入 助 成 金	0 件 0
	埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 助 成 金	0 件 0
合 計 交 付 額	—	25,707,500

7款 1項 2目 商工振興費

インキュベーションセンター管理事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 217 ページ

予算現額	7,635,000 円		決算額	7,519,034 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	115,966 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			6,379,712 円	地 方 債	
	増減額			1,139,322 円	そ の 他	2,715,800 円
	増減率	17.86%	一 般 財 源	4,803,234 円		

<目的>

地域経済の活性化を図るため、さやまインキュベーションセンター21において、新産業の創造や新製品の開発に取り組む起業家等を支援・育成します。

<内容>

狭山市地域新事業創出基盤施設（さやまインキュベーションセンター21）にインキュベーションマネージャーを配置し、入居者の相談に適宜応じるとともに、入居者支援会議を定期的で開催し、課題解決に向けた調整・支援を行います。また、退去後のフォローアップも行い、新事業・新商品の創出の促進を図ります。

<実績・成果等>

- 1 入居率 部屋数 8 部屋×12 カ月＝延べ 96 部屋
 年間利用部屋数 延べ 66 部屋
 利用率 68.8 パーセント

2 事業実績

- (1) 入居者相談・指導回数 10 回
 (2) 補助金・特許申請等件数 1 件
 (3) セミナー・研究発表会・展示会参加件数 9 回
 (4) 入居促進 PR 事業 16 回

7款 1項 2目 商工振興費

中小企業制度融資あっせん事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 217 ページ

予算現額	370,198,000 円		決算額	318,339,700 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	51,858,300 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			331,358,233 円	地 方 債	
	増減額			△13,018,533 円	そ の 他	292,910,094 円
	増減率	△3.93%	一 般 財 源	25,429,606 円		

<目的>

市内中小事業者の成長と経営安定化を図るため、融資あっせん事業を推進します。

<内容>

市内金融機関に対して預託を行い、より低利で借りやすい制度融資の普及・あっせんに努めます。また、利子助成制度や保証料補助制度を活用し、中小企業者の経営や資金繰りの安定化を進めます。中小企業向けの制度融資の種類としては、その目的に応じ、近代化資金・商工業開発資金・小口資金・緊急特別資金・認証等取得資金があります。

<実績・成果等>

区 分	貸付件数	金 額
近代化資金融資	0 件	0 円
商工業開発資金融資	5	41,000,000
一般小口融資	76	348,650,000
特別小口融資	4	9,000,000
緊急特別資金融資	1	9,000,000
認証等取得資金融資	0	0
合 計	86	407,650,000

7款 1項 2目 商工振興費

産業労働センター管理事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 217ページ

予算現額	96,099,000円		決算額	94,488,045円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	17,000,000円	
不 用 額	1,610,955円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			67,859,552円	地 方 債	
	増減額			26,628,493円	そ の 他	
	増減率	39.24%	一 般 財 源	77,488,045円		

<目的>

狭山市産業労働センターを拠点として、企業間連携や異業種交流を促進し、就労支援・勤労者福祉を推進するとともに、産業観光情報の提供等を行うことで、地域経済の活性化と市民福祉の向上を図ります。

<内容>

産業労働センター内の多目的スペース・異業種交流スペース・産業・観光情報サテライト・狭山市ふるさとハローワーク・若者サポートステーション・一般財団法人狭山市勤労者福祉サービスセンターを活用し、企業の経営者や従業員、求職者に対する各種サービスを行うとともに、来館者に対して市内産業や観光情報を提供していくことで地域産業の振興を図ります。また、令和元年度よりビジネスサポートセンター業務を開始し、中小企業・小規模事業者等の支援を行っております。

<実績・成果等>

1 施設毎の利用状況

開所日数	利用人数			合 計
	産業・観光情報 サテライト	異業種交流 スペース	多目的スペース	
359日	808人 (20.6%)	25,261人 (48.1%)	24,618人 (48.4%)	50,687人 (46.1%)

※ () 内は利用率

2 指定管理業務

- (1) 総合案内業務
- (2) 貸室管理業務
- (3) 若年者就職相談業務
- (4) 就労支援業務
- (5) 離職者支援総合相談業務
- (6) 内職相談業務
- (7) 経営支援業務
- (8) ビジネスサポートセンター業務

3 指定管理者実施事業

- (1) 産業関係 7事業 2,997人参加
うちビジネスサポートセンター業務 231事業者 1,312件 2,283人
- (2) 労働関係 15事業 3,100人参加
- (3) 観光関係 5事業 2,430人参加

7款 1項 2目 商工振興費

商業支援事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 219 ページ

予算現額	7,709,000 円		決算額	5,849,640 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,859,360 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			7,941,452 円	地 方 債	
	増減額			△2,091,812 円	そ の 他	
	増減率		△26.34%	一 般 財 源	5,849,640 円	

<目的>

商店街等の施設維持や共同売り出しなどのイベントを支援し、安全で魅力的な商店街を形成することで、集客力を向上させ、商業活動の活性化を図ります。

<内容>

各商店会などが自主的に行っている共同施設の修繕・整備や共同売り出しなどのイベント、また、街路灯電気料に関し、その費用の50パーセント以内の額を補助します。

<実績・成果等>

- 1 商店街活性化推進事業費補助金
商店会が自主的に行う販売促進事業に対し、対象経費の50パーセント以内を補助しました。
5 団体 1,920,000 円
- 2 商店街共同施設管理運営事業補助金
 - (1) 来客用駐車場
商店街共同施設を適正に維持するため、来客用駐車場の年間地代の50パーセントを補助しました。
2 団体 1,110,000 円
 - (2) 共同施設等修繕
商店街共同施設を適正に維持するため、街路灯の修繕費の50パーセントを補助しました。
2 団体 801,000 円 3 団体 339,000 円 (LED化)
- 3 商店街街路灯等電気料補助金
商店街共同施設の適正管理を支援するため、商店会等が管理する街路灯電気料の50パーセントを補助しました。
18 団体 1,671,000 円

7 款 1 項 2 目 商工振興費

中心市街地活性化事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 219 ページ

予算現額	1,500,000 円		決算額	1,500,000 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額				県支出金		
前年度 比 較	決算額	1,500,000 円		決算額の 財源内訳	地方債	
	増減額				その他	
	増減率	0.00%	一般財源		1,500,000 円	

<目的>

狭山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）に基づき、中心市街地エリアの回遊性の向上と活性化を図ります。

<内容>

中心市街地活性化事業として実施している、空き店舗の活用による商業活動の誘因や市民交流・世代間交流の促進のためのたまり場ショップ、各種イベント等を支援します。

<実績・成果等>

中心市街地周辺の商業の活性化を推進するため、エリア内の商店街、地域関係者等からなる実行委員会が行う中心市街地活性化事業に対して、費用の一部を補助しました。

- 1 たまり場ショップ運営事業（稼働日数 213 日）
- 2 地場産野菜の販売事業
- 3 入間川七夕まつり事業
- 4 ハロウィンまつり事業
- 5 茶の里ウォーク・楽楽市事業

7款 1項 2目 商工振興費

工業支援事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 219 ページ

予算現額	1,538,000 円		決算額	904,103 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	633,897 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			1,241,745 円	地 方 債	
	増減額			△337,642 円	そ の 他	
	増減率	△27.19%	一 般 財 源	904,103 円		

<目的>

市内中小企業が抱える様々な経営課題を把握し、必要な支援を実施するとともに、中小企業が有する先進技術のアピール、企業間連携や産学官連携の促進、関係機関との広域ネットワークによる支援を行います。

<内容>

市内中小企業の研究開発力・市場競争力・特許戦略などの向上を図るため、関係機関と連携し、企業が抱える様々な経営課題を把握し、指導・助言・情報提供などを行います。また、企業間連携や産学官連携の促進を図ります。

<実績・成果等>

- 1 市内中小企業事業者が行う新製品の研究開発 相談・指導回数 15 件
- 2 埼玉県西部地域産業ミニ商談会の実績（会場 狭山市市民会館）
 - (1) 参加企業 70 社（発注企業 23 社・受注企業 47 社）
 - (2) 商談回数 176 回
- 3 市内製造業への情報提供

企業支援に関する情報を市内製造業へ向けて情報提供
 対象 市内製造業等約 200 社
 頻度 約 1 カ月に 1 回（実績数 10 回）

7款 1項 2目 商工振興費

ふるさとモノづくり応援プロジェクト事業（総合戦略事業）

（産業振興課）

決算事項別明細書 219 ページ

予算現額	2,358,000 円		決算額	1,855,696 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	502,304 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	2,127,362 円	一 般 財 源	地 方 債	
	増減額	△271,666 円		そ の 他	100,000 円
	増減率	△12.77%			1,755,696 円

<目的>

市内モノづくり企業の優れた製品や技術、働く人々の熱意等の紹介を通じて、「本物づくり」の企業集積地としての当市の魅力を広く市内外へ向けて PR し、市民の地元への愛着と誇りを醸成するとともに、若い世代に向けて仕事としての「モノづくり」に対する興味や関心を喚起し、地域の活性化を図ります。

<内容>

PR 冊子の配布、WEB サイトの運営、イベントの実施を通して、市内モノづくり企業の製品・技術を PR し、人材確保及び企業活動を支援していきます。

<実績・成果等>

1 モノづくり企業 PR サイト 「本物づくりのまち 狭山」

- (1) 閲覧件数 32,197 件
- (2) 登録企業数 215 社

2 イベント

(1) モノづくり企業フェア

- ア 日 時 令和元年 10 月 19 日（土）・20 日（日）（商工祭と同時開催）
- イ 内 容 市内企業による製品・技術展示、体験コーナー
- ウ 協力企業 30 社
- エ 会 場 狭山市市民交流センター コミュニティホール
- オ 参加者 2,207 人

(2) モノづくり企業フェス in 狭山工業高校

- ア 日 時 令和 2 年 3 月 11 日（水）※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- イ 内 容 企業製品・技術展示、体験コーナー
- ウ 協力企業 25 社
- エ 会 場 埼玉県立狭山工業高等学校

(3) モノづくり企業を対象とした就職面接会

- ア 日 時 令和元年 10 月 21 日（月）
- イ 会 場 狭山市市民交流センター コミュニティホール
- ウ 参加企業 10 社
- エ 参加者 47 人

(4) 一般就職面接会

- ア 日 時 令和 2 年 2 月 18 日（火）
- イ 会 場 狭山市市民交流センター コミュニティホール
- ウ 参加企業 15 社
- エ 参加者 65 人

7款 1項 3目 観光費

入間川とことん活用プロジェクト事業（総合戦略事業）

（商業観光課）

決算事項別明細書 221 ページ

予算現額	49,986,000 円		決算額	48,574,080 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,411,920 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金	23,000,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			47,820,440 円	地 方 債	11,700,000 円
	増減額			753,640 円	そ の 他	
	増減率		1.58%	一 般 財 源	13,874,080 円	

<目的>

本市の観光資源である一級河川「入間川」の魅力を最大限に活用するため、中心市街地に近接する「河川敷中央公園」の一部を観光拠点として整備を進めることで、にぎわいの創出、交流人口の拡大と地域のイメージアップを図り、市街地と河川敷を回遊する新たな人の流れを創出することを目指します。

<内容>

地元自治会、地域活動団体、大学教授、観光協会、市、県等による「狭山市入間川河川敷利用調整協議会」を組織し、入間川河川敷の活用に向け継続的な検討を行うほか、イベント開催などを通じた魅力の発信を行います。

また、入間川とことん活用プロジェクト基本方針に基づき、恒常的なにぎわいづくりに向け、官民が連携し整備を推進します。

<実績・成果等>

- 1 狭山市入間川河川敷利用調整協議会を2回開催したほか、同協議会委員等により組織した「入間川河川敷飲食施設出店者選定委員会」を設置し、民間事業者の選定を行いました。
- 2 令和元年5月31日付で、埼玉県より「都市・地域再生等利用区域指定」を受け、河川区域内の商業利用が可能となったことにより、入間川河川敷における飲食施設出店者を公募した結果、事業候補者に決定した民間事業者と基本協定書を締結しました。
- 3 入間川あそびと憩いの空間整備工事として、駐車場・園路整備、樹木の移植、休憩施設（四阿）の設置、手洗い・水飲み場の設置を行いました。

7款 1項 3目 観光費

観光振興事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 221 ページ

予算現額	21,893,000 円		決算額	21,754,965 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	138,035 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			21,925,219 円	地 方 債	
	増減額			△170,254 円	そ の 他	
	増減率	△0.78%	一 般 財 源	21,754,965 円		

<目的>

本市の魅力向上のため、地域の観光資源を有効に活用し、各種観光事業を推進することにより、もって、市民の郷土愛の醸成を図るとともに交流人口の増加を目指します。

<内容>

狭山市観光協会が行う観光振興事業(入間川七夕まつり、街中ウォーキング等)に対して、その事業費の一部を補助します。

<実績・成果等>

1 狭山市観光協会に対する補助

当市の観光事業を総合的に推進する組織である狭山市観光協会に対し、狭山市入間川七夕まつり等の事業費を含め21,400,000円の補助金を交付し、積極的に活動支援を行いました。また、狭山市観光協会と連携し、ホームページ等をおして観光情報の提供とPRを行いました。

観光協会実施事業(一部)

- (1) 早春の狭山ウォーク
- (2) 産業観光バスツアー
- (3) 桜まつり
- (4) 市民広場イルミネーション点灯
- (5) 狭山市駅、狭山市役所庁舎内階段ラッピング事業
- (6) カタクリ自生地での無料休憩所の設置
- (7) AR観光マップの増刷
- (8) 狭山市観光大使「おりびい」グッズ製作・販売

2 狭山市入間川七夕まつり

歴史と伝統ある狭山市入間川七夕まつりは、地元商店街及び事業所並びに各種団体等の協力のもと、8月3日(土)、4日(日)の2日間、華やかに開催されました。

飾り出展数

竹飾り：62件 やらい飾り：61件 合計：123件